

御岳百景

第24号 ヒメボタル



夏と言えば「ホタル」。里や小川で見かけることがあります。
こんな山の上(900m付近)でも観察することができます。
一般的にはホタルの幼虫は水の中にいますが、御岳山にいるヒメボタルは「陸生のホタル」で、日本固有種でもあります。湿った森の中で陸貝などを食べて暮らしています。

私も以前、ムササビ観察に出かけた時、長尾平から天狗の腰掛杉間で数匹観察することができました。
天狗の腰掛け杉の周辺でムササビが鳴き始め、思わず私が2回手をたたくとムササビが返事をするように鳴き返します。(実はムササビに警戒されていたようです)
そのやり取りを繰り返している時、暗闇から小さな光が、すーっと浮かび上がりました。
良く見ると、谷合からふわーっと湧き上がるように小さな光を発し、木々の間を点滅しながら飛んでいきます。手をたたいた音にヒメボタルも驚いたようでした。

小さな光が点滅する様子は、とても幻想的でした。
御岳山でヒメボタルを観察できるのは主に7月と短い期間ですが、私の心に残る御岳百景の一つです。

御岳山でちょい



メンテナンスしてますか？

“ちょい”とは御岳山の方言で“休憩する”という意味♪

登山やハイキング、外遊びのアクティビティには欠かせない装備のレインウェア。
山でたくさん活躍してくれるレインウェアのメンテナンス、みなさんはできていますか？
レインウェアを長持ちさせるために欠かせないのが、使った後のメンテナンスです！
雨や埃や土、皮脂汚れなどがついたままだと、レインウェアの撥水加工の機能が失われてしまうので、使った後はしっかり洗ってあげましょう♪
おうちにある中性洗剤、またはアウトドアウェア用の洗剤と撥水加工機能を回復させる洗剤で洗濯をして、風通しの良いところで乾かします。
しっかり汚れを落としてウェアも”ちょい”させてあげましょう。

※柔軟剤は撥水機能を低下させてしまうので、使わないようにして下さい。

※詳しいメンテナンス方法については、メーカーが出しているものをご確認下さい。

撥水が機能している状態



撥水が機能していない状態



夏山シーズン本番！
装備の準備も万全で
登山やハイキングを
楽しんでください♪



刊行東京都御岳ビジターセンター「木もれび」 2025年夏号 vol.24

東京都御岳ビジターセンター自然解説員作成 2025年7月発行

所在地：〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5

TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445

開館(9:00～16:30) 休館(月曜日 ※祝日の場合は翌日)



バックナンバーは
こちらから♪

東京都御岳ビジターセンター発行(年2回)

御岳ビジターセンターが照らす…

木もれび

vol.

24



2025

夏号刊行

特集

御岳山の

＼夏と言えばセミ！／

セミ大集合！

▼御岳百景
「ヒメボタル」

▼御岳山でちょい
「メンテナンスしてますか？」

御岳山の

セミ大集合！

かなかなかなかな…
みょーけん みょーけん けけけ…
じりじりじりじりじり…
みーん みんなみん…
いろいろなセミの音が聴こえる御岳山
今日はどんな声がする？

夏号の特集は「セミ」！セミと聞くと夏の風物詩と思う方も多いかもしれません。しかし！御岳山のセミシーズンは5月からはじまり、9月末頃まで続きます。季節によってかわるセミの声！セミの声で御岳山を楽しみましょう！

そもそもセミってどんな虫？

セミはカメムシ目セミ科に属する昆虫の仲間です！日本には約35種、そのうち御岳山では9種類が確認されています。幼虫時代は地中で生活をして、植物の根っこを吸って生活しています。種類にもよりますが幼虫時代は数年かかるので意外と長生きな虫です。

セミの命は短い？
わたくし幼虫6年目だよ

御岳山のセミ、大集合！



エゾハルゼミ

山の上で大合唱！
「みょーけん けけけけ…」

標高1000mくらいのブナの林に多い。御岳山ではそこまで大合唱は聴こえないが、大岳山方面ではよく聴こえる。

ずっと自己紹介してる
「みーん みんな」

夏休みを代表するかのような声のセミ。鳴き声がミンミンなのでミンミンゼミ。麓では大合唱してるけど、御岳山での声量は控え目。



ミンミンゼミ



アブラゼミ

油で揚げた暑〜い音
「じりじりじりじり」

羽根の色が油に濡れたような茶褐色なのが特徴。こんなに茶色なのはアブラゼミだけ！街路樹など街中にも多いけれど、御岳山でも声がする身近なセミ。

つくつく法師様！
「おーし つくつく」

スマートで小さめのセミ。ツクツクボウシの声を聞くと夏休みの宿題を早く終わらせないと…と思ひ方も多いとか？7月よりも晩夏にかけて声量が増すからかな。



ツクツクボウシ

涼しげな声で大人気
「かなかなかなかな」

夏のはじめから最後まで情趣ある声で鳴いている。朝早くと夕方によく鳴く。夕立前にすう…と暗くなるときにもよく鳴き出すので雨を知らせるセミでもある。



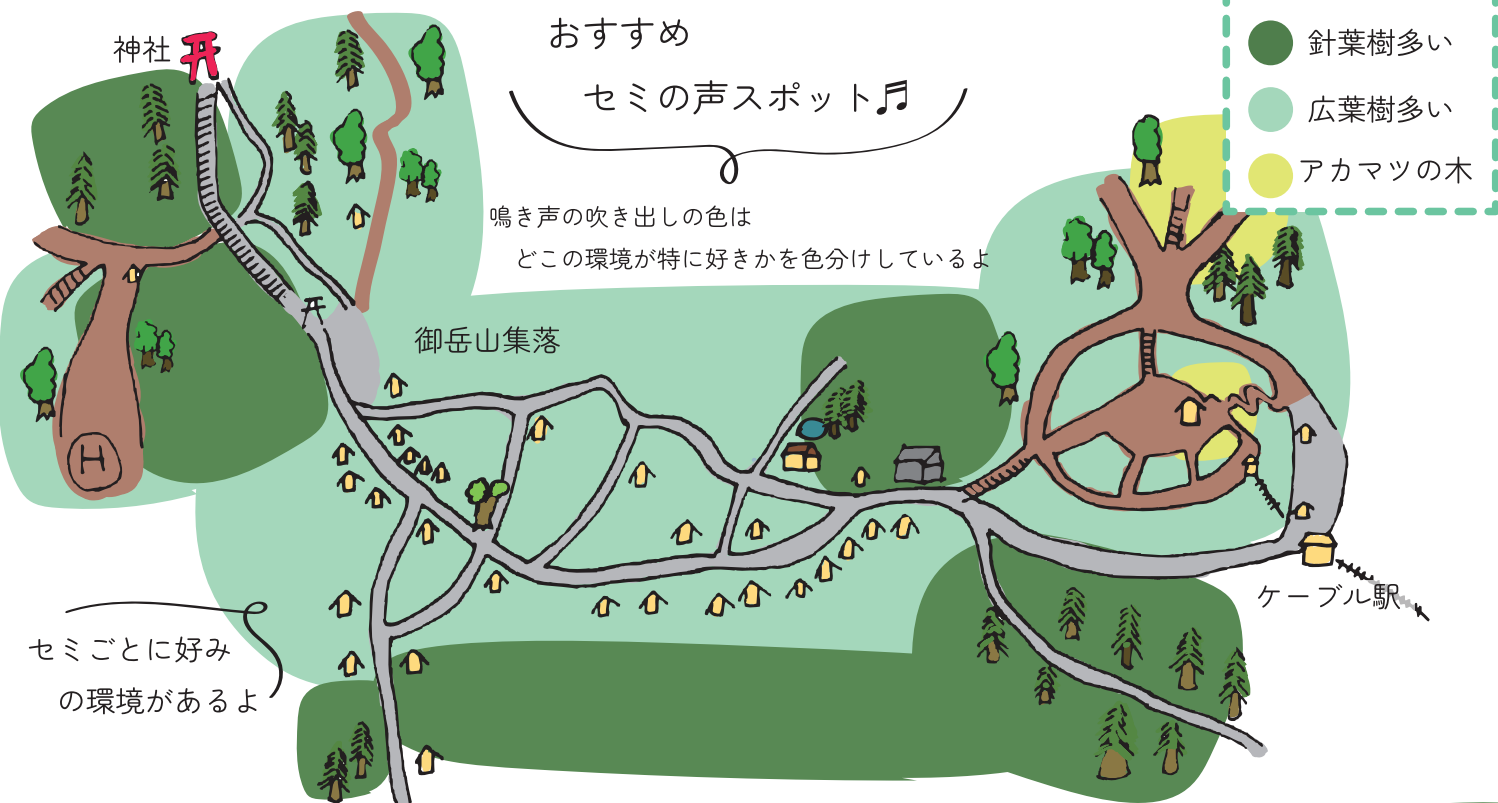
ヒグラシ

小さい身体で大きな声
「ちーーーーー」

御岳山では梅雨の終わりあたりから鳴き始める印象。松尾芭蕉の有名な句「静けさや岩にしみいるセミの声」のセミとして知られている。



ニイニイゼミ



反抗期？
「うぜー うぜー」

御岳山の春1番！5月頃から「うぜー」と気だるげに鳴き始める。天気に敏感で晴れないと鳴かない。マツの木を好んで、マツの木がないといないセミ。声を聞いたら富士峰園地方面へ。



ハルゼミ

この声聞けたらラッキー！
「ちっ ちっ ちっ」

声あまりセミっぽくなく、身体もとても小さいのでなかなか見つけれないセミ。出会えたらとってもラッキー！針葉樹を好むよ。



チッチゼミ

なぜ鳴くの？



鳴くのはオスだけ！メスへのアピールのために、オスの腹部には発音器官が発達しているんだ。なのでお腹を見るとオスカメスカが分かる！



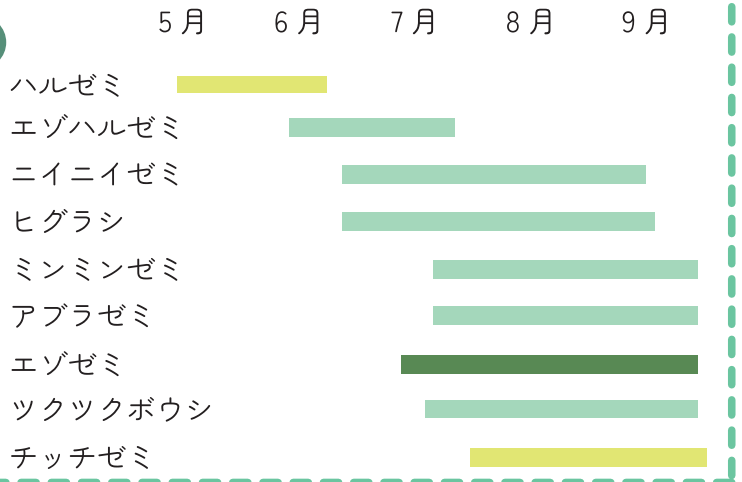
壊れてないですか？
「ぎーー ぎーー」

胸にはっきりと刻まれたWの文字が目立つセミ。東京では山に来ないと聴こえない出会えたらうれしい大きなカッコいいセミ！マツやスギの木を好む。

エゾゼミ

セミの声カレンダー

セミの姿は見えなくても、鳴き声がすれば近くにいます証！5月から9月まで御岳山はいろんなセミの声が楽しめます



表紙と特集のセミたちのイラストはAI生成画像を使用しました

さあ！セミに会いたくなってきましたか？こんな声がしたよ！こんなセミいたよ！の情報はぜひ御岳ビジターセンターまで♡